

「もっと女性が活躍できる建設業」支援事業 【富山県】

総事業費	431 千円
交付金額	215 千円

地域の実情と課題

- ①富山県における建設業の女性従事者の割合（R3）は19.8%で、全産業（43.6%）に比べて低い
- ②建設業は、従事者の減少とともに高齢化が進んでおり、今後の建設業界の担い手確保対策として、女性の入職・定着の促進を図ることが必要

目的・目標

項目	現状	目標
富山県における建設業の女性従事者の割合	19.8%(R3)	20.0%

事業の特徴

- 建設系学科を専攻する女子大学生を対象に、
- ①建設現場における女性技術者の活躍状況や整備された職場環境などを知ってもらう見学会を開催する
 - ②第一線で活躍している女性技術者と直接、意見交換・交流できる座談会を開催する

連携団体

- （一社）富山県建設業協会
 - 県内大学（富山大学、富山県立大学）
 - 県内建設企業
- ほか

事業の効果

- ①女子大学生と女性技術者による現場見学会
参加者：女子大学生38名
- ②女子大学生と女性技術者との座談会
参加者：女子大学生21名、女性技術者9名

今後の課題

建設業のイメージアップを図り、建設業界でも女性が活躍できることや職場環境等を実際に知ってもらうことで、就職先の選択肢の1つとして認識してもらうだけでなく、実際に建設業への入職・定着につなげていく必要がある。

事業の概要

(1) 「女子大学生と女性技術者による現場見学会」の開催

建設現場での女性技術者の活躍状況や整備された職場環境などを、女子大学生に見学してもらい、建設業界でも女性が活躍できることを知り、就職先の選択肢の1つとして認識してもらうことにより、建設業への入職・定着につなげる。

〈参加者アンケート意見（一部）〉

- ・実際に足場に登ったり、建築中の建物の中に入るなど、なかなか経験できないことができた
- ・現場の状況や雰囲気など、実際に見学しなければわからないことが学べた
- ・工事現場で働く方から話を聞くことができた
- ・女性用トイレの設置等、女性でも働きやすい環境であることがわかった
- ・様々な新しい技術を導入していることが分かった
- ・ハードルが下がった など



(2) 「女子大学生と女性技術者との座談会」の開催

建設業界で働くイメージや、職場の環境・雰囲気、仕事とプライベートの両立など、普段は聞くことのできない疑問や不安について、女子大学生が、第一線で活躍している女性技術者と直接、意見交換できる座談会を開催し、不安を払拭するとともに参加者どうしの交流を深めることで、建設業への入職・定着につなげる。

〈参加者アンケート意見（一部）〉

- ・女性の活躍が大いにあることがわかった
- ・バリバリ働いていてかっこいいと感じた
- ・女性だから働きにくいということが全く感じられず、今までの建設業に対する悪い印象から良い印象に変わった
- ・思った以上に女性が働く環境整備が行われていることを知ることができた
- ・技術者の本音を聞くことができ、自分の将来が想像しやすくなった など

